

## 労働者との提携に関する件

本部提案

理由

農民の闘争は労働者との提携とその指導なくしては決定的な勝利を得ることが出来ない。区劃整理組合との闘争に於て我々は労働者との提携を必要とせしことを特に感ぜしものである。区劃整理事業は、小作人の唯一の生産資料であるところの耕地を潰し、宅地となして地價を吊り上げ、地主の懐を肥すところの事業であるが、その工事に従事する労働者との提携がない時は目前の利害関係によつて労働者と農民との同志打ちが行われぬことも限らない。労働者も農民も共に資本家地主から搾取されてゐる兄弟であることを意識し共に手を差し伸べ腕を組んで共同の敵資本家地主とこそ斗争すべきである。我々が労働者との提携を問題とするときは只指導者との結合を求めずはかりではなく、労働者大衆の中へピラ、傳單を広く持ち込み、一人でも多くの労働者に訴へなければならぬ。又労働者が腕起せる場合は、労働者の兄弟として階級的友情を披下し、或は争議基金を送り、或は身を以て動員に参加する善支持も怠つてはならぬ。原則的には農民は労働者によつて指導されるべきであるが、支配階級の弾圧は時として工場、鉱山に於て、労働者の組織を余すところなく破壊することがある。斯る場合には労働者の組織の援助も亦組織農民の任務である。

### 實行方法

労働者との指導提携なくしては眞の解放はあり得ないことを意識し、あらゆる機会に労働者との提携に努力し、労働者との協や会或は懇談会をもつこと

## 五 税金、借金に対する闘争の件

筑紫地区提案

理由

- 一、今年の旱魃被害につき地主等のためには速早く地租が免除されるらしいが、飯米すら持たない喰ひに喰へざる小作人からは相残らず、自動車税も荷馬車税も取立てよう。戸数割や家屋税は一銭も安くすまいといふのが支配階級の腹の中なのだ。
- 二、交通不便な農村にあつては農民の足にも比すべき自動車への課税、農家にとりなくてはならぬ荷馬車、荷車への課税は全く農民のいのちの懸念である。我々は斯かる懸念の激発を要求し、合せて、農民、労働者に対する戸数割、家屋税の引下げ及び砂糖、酒等生活必需品に対する消費税の引下げを要求する。それと同時に資本家、地主に対する累進附加税を主張する。
- 三、我々は租税を納付しなから農民労働者に対する社会的施設例へば診療所、産院、等の施設は一つも与へられておない。農民、労働者が納付したる税金及び農民労働者一般勤労階級が最も多く負担してゐる消費税は主として資本家、地主を擁護助長する爲に支出され、或は直接補助金として被害に交付されてゐる。恐慌の下、旱害、風害にうちめされ、税金の滞納者續出せる今日農民に対する懸念の激発と一般租税の引下げ、その取立猶予とは当然の要求である。
- 四、税金の激発や税率の引下げ乃至その取立猶予を要求してゐる今日、借金は信用組合、銀行